



# BARAEN GROUP PROFILE

## バラエングループ 理念

### 健康な植物(みどり)の力で “しあわせ”を創り出す

私は花き園芸に携わる家で生まれ育ち、他の業界の方々よりも、植物と身近に接し、その恩恵を受けながら活動してきました。それであるならば誰よりも植物のもつ力を全身で感じながら、その可能性を疑うことなく、より多くの人に植物がもつ力の必要性とその効果を、しっかりと伝えていくことが責務と考えております。これからは分野を問わず共感いただけるより多くの方々とパートナーシップを結び、健康な植物(みどり)の力で“しあわせ”を創り出していくと考えています。

### 健康な植物(みどり)の力で 社会の課題を解決する

私たち人類は植物から日々、多大な恩恵を受けながら生活をしています。すなわち私たちは植物によって生かされているといつても過言ではありません。私はそのような、植物(みどり)の命への尊厳の念を強く持ちながら、「健康な植物」「環境」「教育」などをテーマに植物(みどり)がもつ力を探求し、その価値をより広く伝え社会実装させることで、山積してきた社会の課題を解決したいと強く想っています。

### 健康な植物(みどり)の力で 地球をリ・デザインする

今の地球環境、社会はとても厳しい状況にあります。どれだけ最先端の科学の力を駆使しても、経済力であっても、武力であっても、テロや環境破壊は無くなっています。それどころかさらに厳しい状態になっているのではないかでしょうか？私はそれに歯止めをかけ、美しい地球社会を取り戻すことができる人は人類など多くの命を産み、育んできた植物のもつ力しかないのでと思っています。今こそ「植物(みどり)の力」を探求し、その力を最大限に発揮することで、地球をリ・デザインしなければならないと考えます。

### 世界中が変わる今、 植物(みどり)ができるここと

COVID-19により世界中が新しい生活様式へと変わりつつある中、植物(みどり)のもつ力や役割が注視されてきています。以前の植物(みどり)がある空間は、見た目や体感として居心地が良いという感覚的なものから、研究は進みその効果が数値化されてきました。ただ私は同数値の植物であれば何でも同じかというわけではないと考えています。私たちは実際の数値に加え、SDGsやフェアトレードなどのエシカルな観点からの研究も並行して進めしていくことで、地球社会においての植物(みどり)の役割と人間との関りを探求していくなければならないと考えています。

素晴らしいパートナーと共に、  
“しあわせ”を創り出すバラエングループをめざして。

バラエングループ代表 四代目 金岡又右衛門



私たちバラエングループは、創業140年を超える歴史において、生産、流通など花卉園芸とともに生き、植物から多くのことを学んできました。また、農業や環境への関わりを深めることによって、生き物や水、土の役割、重要性に気づかされました。さらに、世界を舞台に活動し、日本の伝統的な園芸技術や文化、感性を取り入れながら、斬新かつ大胆な発想による事業を発表することで、多くの繋がりを生むことができました。そして、プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）に達した現在、見た目の美しさなど人からの視点だけではなく、植物やその他の生き物の視点を取り入れた事業でなければならないと痛切に感じています。そこで今こそ、バラエングループ各社のシナジーと国内外に拡がる様々なジャンルのパートナーと力を合わせ、国境や時代、生き物にシームレスなデザインを提案し、あらゆるものが共生する美しい地球するために、社会の課題を解決する事業を生み出していかなければなりません。それがバラエングループの役割と考えます。私たちバラエングループは、花き園芸業界の一員として、植物からあずかったメッセージを伝え続けていくために、収益活動と社会活動の両輪をしっかりと駆動させ、植物の力で「しあわせを創り出す」ことができる花き園芸総合企業をめざします。私は、四代目 金岡又右衛門として、先人の熱き想いと築き上げてきた全てを受け継ぎ、この厳しい時代を「乗り越える」のではなく、素晴らしいパートナーたちと共に「創りかえる」気持ちで邁進してまいります。そして「世界の感動を日本に。日本の感性を世界へ。」をモットーに、自然や大地への尊厳の念を持ち、植物の「生(いのち)」にこだわり歩んでいきます。

# 沿革



1930年頃の植物目録

- 1880年 初代 金岡又右衛門が長尾村(現兵庫県宝塚市山本周辺地区)において、先進的な花き園芸生産に取り組む。
- 1921年 二代目 金岡喜蔵が薔薇園植物場を法人設立。
- 1930年 植物目録を作成し、日本全国を対象とした植物各品目の通信販売を開始。
- 1935年 積極的にバラの生産に取り組み、全国的な普及に努める。また同時期から全国に先駆けたバラの輸出事業を手掛ける。
- 1945年 バラの生産拠点を宝塚山本から山梨県甲府に移し、積極的に生産や、生産指導を行う。その後岐阜県の揖斐大野においても同様の活動を展開し、今日のバラ生産・普及に大きく関与。
- 1955年 三代目 金岡信也が大阪学校園協会山本分室を併設し、全国に向けて種苗の通信販売事業の拡大を図る。
- 1965年 宝塚市山本において園芸全般の小売販売、造園事業を展開。
- 1975年 生花小売販売部門を設け、近畿圏の量販店においてフラワーショップ事業を展開。
- 1985年 量販店向け生花加工卸部門を設立、量販店において積極的に展開。
- 1992年 チェーンストア向けリテールサポート事業を開始。
- 1997年 大阪花き園芸地方卸売市場(現JF兵庫県生花大阪本部)内において仲卸ローズガーデン生花部第1営業所を開設。有限会社薔薇園植物場を設立し、代表取締役社長に金岡暉子が就任。
- 2004年 業務拡大に伴い、大阪花き園芸地方卸売市場(現JF兵庫県生花大阪本部)の隣接地に仲卸ローズガーデン生花部第2営業所を開設。
- 2006年 株式会社アースフィールを設立。仲卸ローズガーデン生花部第1営業所を大阪花き園芸地方卸売市場(現JF兵庫県生花大阪本部)内において、移設及び拡張。
- 2010年 仲卸ローズガーデン生花部第2営業所を薔薇園植物場大阪営業所として改称。ローズガーデンプランツ株式会社を設立し、仲卸ローズガーデン生花部西側に植物の展示販売場を開設。
- 2011年 有限会社薔薇園植物場、前代表取締役社長 金岡暉子が会長に就任し、後任として金岡信康が代表取締役社長に就任。
- 2013年 「世界の感動を日本に。日本の感性を世界へ。」を理念として掲げ、金岡信康が四代目 金岡又右衛門として活動を開始。大阪花き園芸地方卸売市場(現JF兵庫県生花大阪本部)北側に仲卸ローズガーデン植物部の展示販売場を開設。
- 2015年 一般社団法人日本みどりの研究所を設立し、代表理事に金岡信康が就任。
- 2020年 天然由来の環境改善資材メーカーである株式会社マリネックスがバラエングループに加わる。仲卸ローズガーデン植物部の東側に輸入植物を主とする展示販売場(仲卸ローズガーデン植物部第2売場)を増設。
- 2022年 バラエンクリエイティブ株式会社を設立。



# バラエングループ



バラエングループは2030年  
創業150周年に向けて歩みます



## バラエン

人・植物から必要とされる  
花き園芸総合企業をめざす

伝統と実績を有するバラエングループの  
代表カンパニー。国内外に拡がる密接な  
パートナーや経験と知識豊富な各分野の  
スペシャリストと共に活動。

有限会社薔薇園植物場

[www.baraen-rosegarden.co.jp](http://www.baraen-rosegarden.co.jp)



## Rose Garden Plants

様々な新しいニーズを先取りする  
魅力的な植物の提案

独自ルートによるオリジナルプランツや  
自社・契約栽培など、他では見られない  
スタイリッシュな植物を企画および提供  
し、植物のあり方を提案します。

ローズガーデンプランツ株式会社

[www.instagram.com/rosegardenplants1300](https://www.instagram.com/rosegardenplants1300)



## Earth Feel

地球(アース)に触れ・感じ(フィール)  
人びとと地球の健康をサポート

花き園芸を中心とした農業や環境への取  
り組みを通じて「植物をまもる」「生産をま  
もる」「地球をまもる」をテーマに、環境に  
配慮した技術・製品開発を行います。

株式会社アースフィール

[www.earthfeel.co.jp](http://www.earthfeel.co.jp)



## マリネックス

天然由来である唯一無二の資材  
「マリネックス」で地球を丸ごと洗濯する

海洋性腐植抽出液、高濃度フルボ酸と豊  
富なミネラルを原料とした「マリネックス」  
の製造・販売。天然資源で農業や水産、  
環境分野の発展に貢献します。

株式会社マリネックス

[www.marinex.co.jp](http://www.marinex.co.jp)



## BARAEN CREATIVE

健康な植物(みどり)の力で  
地球をリ・デザインする

エシカルな観点による都市空間や暮らし  
のステージを創造します。地球環境に配  
慮した持続可能なボタニカルプロデュー  
スを行います。

バラエンクリエイティブ株式会社

[www.baraen-creative.co.jp](http://www.baraen-creative.co.jp)



一般社団法人  
**日本みどりの研究所**  
Japan MIDORI Art and Science Organization

健康な植物(みどり)の力で  
“しあわせ”を創り出す

植物の潜在能力をより良い生活環境づく  
りに活かし、みどりでSDGsをサポートする  
ためのモノ・コトづくりの研究とグリーンビ  
ジネスの創出を推進しています。

一般社団法人  
**日本みどりの研究所**

[www.midori-institute.org](http://www.midori-institute.org)

# グループ企業概要

■代表企業名 本社	有限会社薔薇園植物場 〒665-0883 兵庫県宝塚市山本中2-15-8 TEL 0797-88-0001 FAX 0797-88-0010
大阪営業所	〒561-0845 大阪府豊中市利倉1-5-23 TEL 06-6867-3900 FAX 06-6867-3901
仲卸ローズガーデン生花部	〒561-0805 大阪府豊中市原田南1-15-1 JF兵庫県生花大阪本部(梅田生花市場)内 TEL 06-6864-8717(FAX共通)
仲卸ローズガーデン植物部	〒561-0805 大阪府豊中市原田南1-15-1 JF兵庫県生花大阪本部(大阪植物取引所)内 TEL 06-4866-1212(FAX共通)
代表者	代表取締役社長 金岡信康
資本金	10,000,000円
創業	1880年(明治13年)
主要取引銀行	三井住友銀行
■ローズガーデンプランツ株式会社	〒561-0805 大阪府豊中市原田南1-15-1 JF兵庫県生花大阪本部内 TEL 06-6151-5870
■株式会社アースフィール	〒561-0845 大阪府豊中市利倉1-5-23 有限会社薔薇園植物場・大阪営業所内
■株式会社マリニックス	〒591-8001 大阪府堺市北区常磐町3丁8-5 TEL 072-258-9071 FAX 072-258-9070
■バラエンクリエイティブ株式会社	〒561-0845 大阪府豊中市利倉1-5-23 有限会社薔薇園植物場・大阪営業所内
■一般社団法人日本みどりの研究所	〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル4階 TEL 06-6312-3407

事業内容 生花卸売(仲卸ローズガーデン生花部)  
植物卸売(仲卸ローズガーデン植物部)  
全国主要花き市場、仲卸とのEC取引の提供  
加工卸(カジュアルブーケ・ギフト他)  
オリジナル資材企画・販売  
輸入事業/輸出事業  
植栽及び造園等の緑化事業  
ボタニカルプロデュース コンサルティング事業  
花き園芸に関するイベント企画・運営  
生産・生産者支援事業  
環境事業  
リ・ユース事業  
レンタル事業  
植物・野菜工場事業  
教育・福祉事業  
with the world事業





[www.baraen.co.jp](http://www.baraen.co.jp)